

【3年間の運営方針】	【3年後のありたい状態】
<p>1. 人材育成、教育の方針</p> <p>人材育成の方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神“Mastery for Service”を体現できる世界市民の育成（平和な社会を築く担い手としての世界市民） 2. 関西学院大学の中核となる生徒の育成 3. グローバル社会を生き抜くアクティブラーナーの育成 <p>教育の方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教主義教育に基づく全人教育 2. 礼拝(聖書)、人権教育、平和教育、国際理解教育、自治活動、HR活動、クラブ活動やボランティア活動など、あらゆる教育活動を通して基礎学力の定着を図り、批判的思考力、判断力、表現力、探究する力を養う 3. すべての教育活動において、「Kwansei コンピテンシー」の育成を念頭に置いた、(教育基盤)改善の取り組みを行う 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神“Mastery for Service”が実践できる場があらゆる教育活動において提供されている 2. 全教員が高等部の目指す学力および学力観を共有し、主体的に学ぶ力を持ったアクティブラーナーを育成している 3. ダイバーシティ、インクルーシブなコミュニティな共同体が形成されている 4. 生徒が他者の言葉に耳を傾け、自分の意見を自分の言葉で表明する、また自らの確かな情報を得て判断行動することができる
<p>2. 児童・生徒獲得の方針</p> <p>・優秀な生徒を確保するため、入試・広報戦略の見直しを行う</p> <p>生徒に引き続き「選ばれる高等部」であるために、これまでの広報戦略を見直し、より多くの中学生・保護者等に、より効果的に高等部をアピールし、「第一志望」としてもらおうための努力をする</p> <p>具体的には、以下の4点の改善を行う</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 入試制度の改革に着手 ② 学校案内等各種広報ソールの改善 ③ 費用対効果を検証した上で、新規の広告媒体への出稿や外部説明会の実施を検討 ④ オープンスクールや外部説明会実施方法の改善 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高等部の教育目標により合致した、新しい入試制度が完成している。 2. 1を踏まえ、学校案内等のソールが効果的に改訂されている。 3. 検証を踏まえた上で、効果的な広告出稿や外部説明会が実施されている。 4. 外部での学校説明会などにおいて、高中教員がそれぞれの学校について、十分な説明ができる
<p>3. 中期的な課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教主義に立つ建学の精神を堅持するための教員研修 2. 教員の労働環境の改善(クラブ活動における教員の仕事の軽減化も含め、適切なワークライフバランスの確立を目指す) 3. 「Kwansei コンピテンシー」を身につけるため、正課・正課外教育の中で、ICT を適切に用いながら、批判的思考力、判断力、表現力、探究する力を養う、アクティブラーニングの実施及びカリキュラム化 4. 初・中・高間での情報および学力観の共有 5. グローバル人材育成と国際理解教育・人権教育の充実 (ATE教員の長期雇用) 6. 入試・広報戦略の確立と広報活動の一貫教育を生かした一体化 7. 適切な生徒指導、進路指導のための情報管理システムの整備 8. 財政基盤の強化のための募金活動の推進 	

【重点施策】	【中期総合経営計画 実施計画】として取り組むものに○
① 総合学園の「見える化」と関西学院アイデンティティの浸透	○
② 高等部から大学への内部進学率維持	○
③ 高等部生の「学びの先取り」の具体的検討と推進	○
④ 「大学生メンター制度」の導入	○
⑤ 働き方改革に伴う各施策	
⑥ 「Kwansei コンピテンシー」の育成のための教育目標の策定と、その目標達成のための基礎学力、批判的思考力、判断力、表現力、探究力向上のための教育の活性化	
⑦ グローバル人材の育成と国際理解教育の充実	
⑧ 策定された教育目標に沿った入試制度改革とそれに基づいた広報戦略の強化	

【3年間の取り組み状況(中期計画)を測る指標】

- ①スクールモットーの認知度・共感度、②内部進学率、③新たな「学びの先取り」科目の設定、⑤働き方改革の進捗度合、⑥「Kwansei コンピテンシー」育成のための教育目標設定と教育の活性化、⑦生徒対象のアンケート調査、⑧入試制度改革の進捗度合

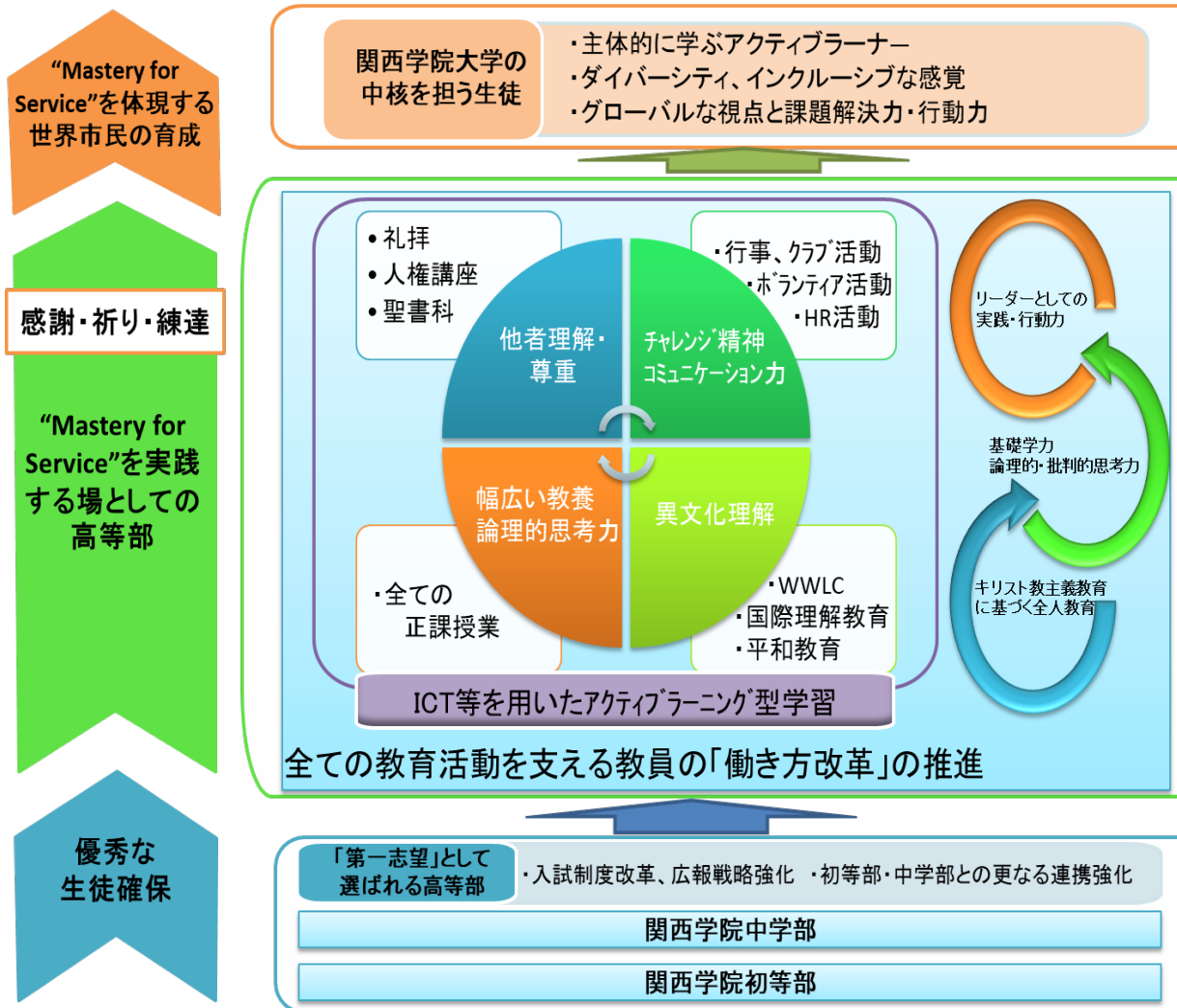
【目標や実績を踏まえた次年度に向けた展望】(2021年2月時点)

高等部の細部にわたる教育目標の策定作業がコロナ禍のために中断した。次年度に再開して、基礎学力、批判的思考力、判断力、表現力、探究力向上に向けた教育の活性化のための新たな「学びの先取り」科目の設定や、WWLC事業に関連するカリキュラム改編による「Kwansei コンピテンシー」が育成される環境の整備を行い、その教育を受けた生徒による内部進学率が94%となる。

また、その教育活動にあたる教員の「働き方」への改革への具体的な施策を実現化し、本来的な教育活動に向ける時間が増加している。

【取り組みの全体像】

“Kwansei Grand Challenge 2039”長期戦略テーマ:「**特長ある一貫教育の創出**」・「**内部進学者の増加**」



以上